

柳津町ゼロカーボンシティ宣言

世界全体での森林面積の減少や発電等のエネルギー確保で化石燃料への依存が高いことが、地球温暖化の要因となる温室効果ガス増加につながり、気温・海水温の上昇等の気候変動を招いています。こうした気候変動は、世界各地で記録的な台風や豪雨、洪水、大規模な山火事などの自然災害を引き起す要因となっており柳津町においても、近年、気候変動の影響によるものとの推測される局地的な豪雨等の自然災害が多数発生しています。

このような中、2015年に、地球温暖化の主な要因と考えられる二酸化炭素の削減へ世界が協力して取り組むため「パリ協定」が採択され、産業革命以前に比べ、平均気温の上昇を1.5℃までに抑える努力目標が決定されました。また、2020年10月、国においては「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言し、カーボンニュートラルに向けて大きく動き出しました。

柳津町は面積の約86%が森林であり、手付かずの自然が多く残る地域であり、地熱や水力の再生可能エネルギーによる発電所を有する町であります。こうした豊かな自然環境を未来につなげる為、温室効果ガスの削減に努めていかなければなりません。そのため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「カーボンニュートラル」の実現を目指し、全ての町民が力を合わせ取り組むことをここに宣言します。

令和4年12月7日

福島県柳津町長

小林 功